

「グラツ」と

きてからでは もう遅い

4月15日 12時19分頃、三重県中部を震源地とする地震が発生再確認！あなたは普段からの備えをしていますか…

写真提供：三重県

4月15日 12時19分頃、三重県中部を震源地とする地震が発生しました。

地震の規模はマグニチュード5.4で亀山市では震度5強、鈴鹿市、津市、伊賀市では震度5弱を観測しました。いなべ市でも震度4を観測し、近年まれに見る揺れを体感しました。地震直後は携帯電話が長時間不通になるなどライフラインの弱さを露呈しました。いなべ市での被害はありませんでしたが、震度5強を観測した亀山市では生命にかかわる人的被害はなかったものの、負傷者や住宅被害などが多く発生し市民生活に影響をおよぼしました。

今回の地震について考える

今回発生した地震は、内陸型地震（直下型）で活断層のズレによるものと考えられます。

三重県北部は活断層が多いことで有名ですが、震源地付近には「布引山地東縁断層帯」と呼ばれる活断層があり、鈴鹿山地や布引山地の形成に関わる断層帯です。また、震源域の北側の延長部には「鈴鹿東縁断層帯」、「養老・桑名・四日市断層帯」（いなべ市に最も影響があると言われています）も存在します。今回の地震は「布引山地東縁断層帯」の活動によるものと考えられますが、具体的にはどの断層が動いたのかははっきりとわかっていません。過去にも震源地付近で大きな地震があった記録もなく、活断層の活動も低調な場所でした。このように内陸型地震は、海溝型地震のようにおおよその予測ができる地震とちがい予測が難しい地震でもあります。東海、東南海地震はいつ起こってもおかしくないといわれていますが、今回は予想もしないところで地震が発生しました。

普段からの備えや地域や隣近所との助け合いなどをしっかりとし、いつ、どこで起きるかわからない災害に備えましょう。

